

2014年5月8日

博報堂、世界的なクリエイティブ機関「アルスエレクトロニカ」と提携

～先端テクノロジーとアートシンキングによる、
産業と社会のイノベーション創出支援サービス『Future Catalysts』をスタート。～

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役：戸田裕一）は、世界的なクリエイティブ機関「アルスエレクトロニカ（Ars Electronica）」と提携し、新たなイノベーション創出支援サービス『Future Catalysts』（※サービス名称・次ページ参照）を開始いたしましたので、お知らせいたします。

オーストリア・リンツ市を拠点とする「アルスエレクトロニカ」は、先端テクノロジーとアートシンキングが未来社会に与えるインパクトと可能性を探求してきた、世界が注目する未来志向のクリエイティブ機関です。アルスエレクトロニカが発信する未来社会シナリオは、過去30年以上に渡り、絶えず世界からの注目を集め、時代の潮流を生み出してきました。またアルスエレクトロニカのR&D部門「フューチャーラボ」は、欧州企業を中心に、イノベーションを支援する「触媒」（カタリスト）として、未来志向のコンサルティング事業を行ってきた豊富な実績も持っています。

今回の提携は、こうしたアルスエレクトロニカの先端テクノロジーとアートシンキングの高度な専門性と、博報堂が持つ生活者洞察力やアイデア具現力など、お互いの強みを活かし合い、主に日本とアジア圏において、クライアント企業に対する新規事業創造の開発支援や、様々な社会課題への新たな解決策の創造を、共同で行っていくことが目的です。

また、あわせて、アルスエレクトロニカが持つ、アート、先端テクノロジー領域の世界的なクリエイティブネットワークと連携しながら、産業と社会のイノベーション創出に貢献する新たなクリエイティブ人材の育成と輩出を目指した取り組みも行ってまいります。

アルスエレクトロニカのアーティスティック・ディレクターである、ゲルフリート・ストッカー氏は、「日本はこれまで、エンジニアリング、アート、デザイン等の領域において、トップクラスのクオリティを持ち世界をリードしてきました。しかし今、世界では、テクノロジーの革新だけでなく、社会的・文化的イノベーションが必要とされています。それを創発し、新たなチャレンジを刺激するような、新しい「触媒」が必要とされているのです。『Future Catalysts』が目指すのは、こうした日本の産業、行政、地域、社会を刺激し、「未来を発明するための触媒」となり、実践してゆくことです。未来のシナリオを語るだけでなく、それを実際に創造し実現していくこと。それがこのコラボレーションの目的です。

アルスエレクトロニカは、1979年以来、アート、テクノロジー、そして社会を繋ぐ様々な出会いの場を創造し、それらを横断することで生まれる「未来」を具体的な形にして社会に提案してきました。博報堂は「生活者」という社会の中の本質を観察しながら産業と社会を繋いできました。この2つの専門家集団が出会うことによって、「未来の発明」を促す様々な化学反応が生まれることを期待しています。」とコメントしています。



■サービス名称

『Future Catalysts Hakuodo × Ars Electronica』（未来への、触発）



■主なサービスメニュー（例）

① クライアント企業向けイノベーション開発支援事業

- ・未来生活体験シナリオ、未来事業開発コンセプトの開発
- ・新プロダクト・サービス開発、実証実験環境の提案
- ・新メディア・プラットフォーム開発、新エンターテインメント(感動体験)プログラムの開発
- ・政策立案、地域振興プログラム等、社会イノベーションプログラムの開発 等。

② クリエイティブ人材（=Future Catalysts人材）育成プログラム

- ・先端テクノロジーやアート領域まで含めた幅広いクリエイティビティを、社会や産業のイノベーション創出に活かすスキルを持った「Future Catalysts」人材の育成。
- ・アルスエレクトロニカ・フェスティバル、企業や大学、行政等との連携プログラム。

* 『Future Catalysts Hakuodo × Ars Electronica』についての詳しい資料については、こちらからダウンロードすることができます。

<http://consulaction.hakuodo.co.jp/> （会員登録が必要です）

■ アルスエレクトロニカ (Ars Electronica) について

アルスエレクトロニカは、オーストリア・リンツ市を拠点に、過去30年以上に渡り、「先端テクノロジーがもたらす新しい創造性と社会の未来像」を提案し続けてきた世界的なクリエイティブ機関です。「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」等を通し、クリエイター、アーティスト、技術者、科学者たちの世界規模のクリエイティブ・コミュニティを形成してきました。インタラクティブアート、デジタルコンテンツ、ロボティクス、デジタル音楽、アニメーション、ソーシャルイノベーション等、最先端のアート作品やプロジェクトの膨大なアーカイブを有しています。またR&D部門の「アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ」は先端テクノロジーが持つ可能性を、新しい商品や未来コンセプトモデル開発、新しいエンターテインメント（感動体験）として創り上げる能力において世界最高峰の技術を有しており、通信、自動車、家電、公共施設、商業施設、地域再生など、様々な領域におけるイノベーションに貢献しています。欧州企業だけでなく、日本企業との協働プロジェクトも行っています。



(写真) リンツ市民、世界中のクリエイターが集う場所として機能するアルスエレクトロニカ・センター

photo: Nicolas Ferrando, Lois Lammerhube

本件に関するお問合せ：博報堂 広報室 西尾・藤井 (TEL：03-6441-6161)

<http://www.hakuhodo.co.jp/>